

問題4 Aの1 問1 a 問2 a

教：昨日出した宿題はやってきましたか？

学：すみません。やってません。

教：では、明日までに必ずやってきてください。

学：いいえ。

教：どうしてですか？

学：妹は病気です。だから、看病をしなければなりません。

教：分かりました。では、看病が終わったら、必ず提出してください。

学：はい。

問1 「教師」「宿題」から教室内だと分かります。

問2 「～てください」への拒否の返答は「いいえ」ではありません。

問題 4 A の 8 問 1 d 問 2 d 問 3 c

教：皆さん、皆さんは上司に資料を貸してほしいです。上司に何と言ったらいいでしょうか。

学 1：資料を貸してもよろしいでしょうか。

教：チェ（＝学 2）ちゃん、チョー（＝学 1）さんが上司に資料を貸しますか？

学 2：いえ。

教：この言い方の場合、誰が誰に資料を貸しますか？

学 2：チョーさんが上司に資料を貸します。

教：そうですね。皆さんがしてほしいことは何ですか？

学 2：上司に資料を貸してほしい。

教：何と言って、お願いしますか？

学 2：資料を貸していただけないでしょうか。

教：そうですね。それでは皆さん一緒にどうぞ。

学 1、学 2：資料を貸していただけないでしょうか。

教：相手に何かしてほしいときは依頼の表現を使いますね。ではチョーさん、上司に報告書をチェックしてほしいときは何と言ったらいいでしょうか？

学 1：資料をチェックしていただけないでしょうか。

教：上司に報告書を書いてほしいときは？

学 1：資料を書いていただけないでしょうか。

教：上司に報告書を読んでほしいときは？

学 1：資料を読んでいただけないでしょうか。

教：上司に報告書を早く出してほしいときは？

学 1：資料を早く出していただけないでしょうか。

問 1、問 2 一定の文型を繰り返して言わせるといったパタンプラクティスによる反復練習は、オーディオリンガル法における一つの方法です。

問 3 「上司に資料を貸してほしい」場面での学 1 の「資料を貸してもよろしいでしょうか。」という誤りを、学 2 に確認させて、「資料を貸していただけないでしょうか。」を導き出しています。

問題4 Aの12 問1 a 問2 b

日：あら。

学：こんにちは。

日：お子さんと一緒？ 年子くらい？

学：2歳差です。上が3歳で下が1歳です。

日：大変ねえ～。うちも年子だったからわかるわあ～。大変でしょ～。

学：大変です。

問1 流暢な会話で、選択肢の範囲での問題は見当たりません。

問2 2人の会話がかみ合っており、日本人は無視をしていません。

問題 4 B の 1 問 1 c 問 2 c

学：私は 2 年前に日本に来ました。毎日、日本語の勉強をしています。日本語はなかなかうまくなりません。毎日、日本語を一生懸命勉強しています。私はとても充実されています。日本はとても過ごしやすいです。がんばります。

問 1 全て述語が 1 つの短文で構成された発話です。

問 2 「私はとても充実されています。」の「されて」は「して」の誤りです。よって、文法的にはヴォイスが間違っています。

問題 4 B の 4 問 1 b 問 2 a

学：この間、東松山のグラウンドに、ラグビーの試合を見にいきました。前の試合で負けているので、少し心配でした。でも、グラウンドにいる選手は元気そうなので、心配はいらないと思いました。だから、勝つんじゃないかと思っていました。キックオフの後、一気に攻め込みました。パスをまわす後、次々にトライを決めました。相手がトライできないまま、試合が進んで、大東大が圧勝しました。次の試合も、この調子で勝てばいいのに、と思いました。

問 1 「選手は」「勝つんじゃないか」「一気に」「トライできない」などの語が共通語アクセントではありません。

問 2 「パスをまわす後」は「パスをまわした後」の誤りです。よって、文法的には従属節のテンスが間違っています。